

令和7年度 第2回文化振興委員会 会議要旨

日時：令和7年9月16日（火）午後2時から
会場：豊田市民文化会館 会議室 A

出席者（敬称略）

委員	清水裕之（委員長）、小出充訓（副委員長）、新原浩美、半田将仁、物部浩子
オブザーバー	藤本聡（専務理事）
事務局	猿谷直記（文化部長） 文化事業課 市民文化会館 原田秀樹（課長）、加藤祐二（副主幹） 山下明男（所長）、梅村陽子（副所長）

■議事次第

1 あいさつ及び会の成立

（1）専務理事あいさつ

（2）委員あいさつ

（3）会の成立

事務局から、委員6人中5人の出席があり、本委員会の成立が報告された。

2 前回の委員会会議録の確認

「令和7年度 第1回文化振興委員会 会議録」

会議録の内容に関する意見・異論無し。

3 協議事項

（1）令和8年度事業計画（案）について

- ・市民文化会館事業計画について、事務局から説明する。
- ・文化事業課事業計画について、事務局から説明する。

委員 令和7年度より事業数が、事業課は31から23に、文化会館は14から11になっているが、全体的に縮小しているのか。

事務局 令和8年度は宝塚歌劇団のツアーがない。スタッフの貸館のスキル向上と、つながりビングの回数増と内容の充実をしていく。
市との共催事業がまだ示せていない。統合事業も3つをひとつに統合するので数は減るがボリューム的には大きい。また豊田市国際交流協会と合併していくため、事業もこれから形になっていく。

委員 こころの劇場は子ども向け事業ということで、小学生対象と言われたが、中学生向けはあるのか。

事務局 文化会館では中学生向けには実施していないが、コンサートホールで豊田市教育委員会が毎年クラシック・コンサートの鑑賞会を中学3年生対象に行っている。

委員 会館では貸館の業務に強化をされると言われたが、お困りごと相談窓口は具体的に

事務局 どんな方が来るのか。実際に施設を予約された方の相談が多いのか。
会社関係が多い。今現在は施設を予約した方が多い。相談窓口では現場を見ながら長い時間じっくり利用の相談ができる。

委員 ところの劇場の支援はどんなことをしているのか。
事務局 駐車場の警備、ロビー周りやゴミの引き取りなど運営側のお手伝いである。

委員 先ほどの説明で、とよた寄席の採算が取れてないとのことだが、料金設定はどうやっているのか。

事務局 小ホール 400 席で 4,000 円。経費諸々含めるとほぼ完売しないと成立しない。

委員 愛知県芸術劇場の小ホールでも落語をやっているが、5,000 円くらいか。

委員 貸館なので直接関わっていないが、値上げの波はあるように思う。先日子ども向けの主催事業を値上げしようという話が出ていた。

事務局 他の近隣ホールの金額を参考にして設定している。豊田だけ値段を高くできない。

委員 近隣でも寄席はやっている。参考にしながら採算がとれるように。名古屋に行くより豊田なら交通費がかからない分値上げしてもよいのでは。

事務局 実は昨年度値上げした。

委員 文化会館は赤字を出してはいけないのか。文化事業課は。

事務局 市からの負担金はほとんどない。自主事業なので赤字は出せない。共催事業は市からも負担金が出ている。

委員 貸館業務に力を入れると言われたが、どのようなことを。

事務局 音響と照明は技術スタッフがついている。それ以外は職員が行っているの、スキルを底上げしたい。

委員 今までやってきてほかのホールと比べて付加価値があると思うので、予算はかからないが事業として考えてもよいのではないか。

委員 公演のサポートをするスタッフは、きちんと舞台のことを理解していないといけない。どこまでサービスをするのか明確化しておいた方がよい。そうすることによりこのホールの評判も上がるのではないか。

委員 文化事業課のアートプロジェクト 3 つの統合で、令和 8 年度は準備の年だと言われたが、関係者のネットワークができているので、それを活かしてほしい。

事務局 市が中心となってやっているの、まだ具体的にはできていないが、関係者のネットワークは財産であり、母体は必要なのでぜひ活かしていきたい。

委員 児童養護施設や収入の低い方に参加してもらおうという話があったが、可能であれば新聞の取材を受け、PR やそういったアプローチを財団がしていることを市民の方が知るようになれば良いと思う。

事務局 他の職員にも共有しているので、今後アイデアを出しながら考えていきたいと思う。

委員 現状はそういった方にどのように案内しているのか。

事務局 現状はできていない。これまで関係性が全くなかったわけではないが、以前の会議で意見をいただいていたので、改めて実施することを考えている。

委員 子どもたちのために合唱団や演劇以外に、違う方向性の事業は考えていないか。

- 例えばダンスなど。
- 事務局 ダンスなどは民間が色々やっているのではないかと市と話している。そういったものよりは学校の学芸会がなくなったので、その方面でカバーできるものを構築をしようとも考えている。
- 委員 部活動の地域移行の話もあるが、ダンスの講師はたくさんいるのでそういった方たちに声をかけ集まってもらいコンテストなどをするという話はないのか。
- 事務局 民間ではマーチングバンドをやっている団体が他の団体と一緒に発表会を行っているが、ダンスはない。
- 委員 もう少しいろんなジャンルを実施した方がよいと思う。地域や民間との協力をしてみても。長久手は社交ダンスがすごく多いと聞いたことがある。幅広い年齢での活動も増えているのでアンテナを高く張っているとよい。
- 委員 以前、愛知県芸術劇場が県内市町村との事業連携を進めていると聞いたが、進捗は怎么样了のか。
- 委員 8月の頭からツアーで7か所ほど回っている。

4 報告事項

(1) 令和7年度事業視察報告 ・げきじょうたんけんツアー（文化会館）

- 事務局 今回、事業視察いただいた委員が本日欠席のため、事務局が代わって報告する。
(事業視察報告書の説明)
- 委員 モニタリングについての質問だが、今回私が視察する農村舞台、演劇祭、50周年記念事業はどれも来年度は実施しないということであるが、前もって何のためにやるのかが分かっている方がモニタリングし易い。
- 事務局 農村舞台は、今年が多文化共生をテーマにしている。今後も多文化共生を行っていくのでその視点で見てほしい。演劇祭は演劇協会にバトンタッチするための内容を見てほしい。50周年記念事業は単発での開催。
- 事務局 補足になるが、会館50周年記念事業は今までの利用者への感謝、これからの利用者へのPR、今後の会館を担うようなエッセンスを感じてもらえるようなものにしていきたいので、今後ご指摘やご意見をいただきたい。
- 委員 とよた定点観測であるが、豊田の50年が映像に残されていて大変貴重なものだと思う。もっと多くの人にアピールしてもらいたい。
- 事務局 記録として残していくことは大切だと思う。また、それをどのように活用していくかも課題と考えている。
- 委員 博物館とタイアップしてアーカイブを作ってもらえるのはどうか。
- 事務局 博物館の重点取組からは外れているようだが、今後はクローズアップされるかもしれない。
- 委員 以前提案させていただいた「げきじょうたんけんツアー」の開始前BGMでワクワク感を作り出すということについて、実際に実施していただきとても良かったと思う。今回の対象年齢はどれくらいだったか。

事務局 未就学児から小学生をメインターゲットに内容を考えた。

委員 次回は大人向けのツアーも考えているということだが、そもそも劇場に興味がある人が参加するのだろうかと思われるので、参加者へ次の公演の案内ができるように、仕組み作りやアナウンスをしてもいいと思う。
劇団四季の公演時に「げきじょうたんけんツアーを開催します」とPRして、お客さんは公演の時には表側しか見られなかったものが、ツアーでは裏側を見られるようになり、つながるのではないかな。
いろいろなバックヤードが好きな大人がいるが、やはり舞台に立ったことがある・公演を観たなど関係する人の方が入り込みやすいのではないかな。
前にも話したと思うが、野球が好き、サッカーが好き、この選手が好きなどあってバックヤードに興味を持つ。そもそも好きでないとバックヤード等見たいとは思わない。
愛知県芸術劇場でも、バックヤードツアーで推しの公演を観に行った際楽屋でSNSをアップしていたので、自分も撮りたいと盛り上がっていた人がいた。

委員 げきじょうたんけんツアーの人気はどうか。
事務局 早い段階で申込みは定員に達した。
事務局 リピーターも何人かいた。

以上、会議終了

5 その他

(1) 次回の委員会

日時 令和8年2月10日(火) 14時～
会場 豊田市民文化会館